

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日13:00～14:00

会長 竹内 裕子

例会場 ANAクラウンプラザ
グランコートホテル名古屋

幹事 片桐 栄子

承認 2013年6月18日

公共イメージ
向上 早川 圭一



インスピレーションになる

2018～2019年度名古屋アイリスRCのテーマ

魅力あるアイリスに
(健全健やかに成長するアイリス)

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第254回 例会

2018年11月28日 13:00～

- 司 会 林 功 例会運営・司会委員
- 斉 唱 手に手つないで
- 出席報告 出席者数 24名 / 38名
出席率 63.15 %
前々回修正出席率 78.94 %
- ゲ ス ト 田嶋好博 パストガバナー
名古屋北RC会長 当
クラブ名誉会員
水野吉紹 名古屋北RC会長代理
当クラブ名誉会員
朝倉淳一 北RC幹事
山口剛史 北RC会員
小川孝司 北RC会員

■ビジター

ニコボックス

- 田嶋好博様
卓話をさせていただきます。
※ 多額のご寄付いただきました。
- 水野吉紹様
久しぶりの例会参加させていただきます。
- 朝倉淳一様
本日よりよろしくお願いいたします。
- 竹内祐子会長
名古屋北RC、水野会長代理、朝倉幹事はじめ、会員の皆様ご参加ありがとうございます。
田嶋先生、卓話よろしくお願いいたします。
- 安井忠戦略委員長
※ 多額のご寄付いただきました。
久しぶりに田嶋パストガバナーの卓話をいただき勉強させていただきます。また、当クラブ会員安藤君が11月21日に蒲郡信用金庫の総会にて理事に昇進されました。おめでとうございます。
- 荒山久美委員長
田嶋先生卓話よろしくお願いいたします。
- 伊藤喜子会員
ものすごーく久しぶりに例会に出席させていただいた記念に… 皆様どうぞよいお年を！！

会長挨拶

皆様こんにちは

本日は名古屋北RCの水野会長代理、朝倉幹事、山口さん、小川さん例会ご参加ありがとうございます。先日はアイリスが分区内交流ということで4名お世話になりました。大変、勉強に又参考にさせて頂く事ヒントを頂きました。北RCさんの子クラブとしてアイリスもまだまだ未熟ではありますが、本日は楽しんでいってください。今回は、田嶋先生にもお忙しい中、お越しいただき卓話をお願いしております。よろしく願い致します。



また、皆様にはメールでご紹介いたしました。北RCフィンランドからの青少年交換学生さんのホストファミリーの件（H31/2～6月）是非ご検討お願い致します。地区大会でお見掛けいたしました。中々の好青年で日本語が話せて、成城高校に通われているそうです。そしてもう一つ来年4/18第10回チャリティゴルフの件、毎年「ロータリー希望の風奨学金」への支援寄付を目的に行っております。是非ご参加ご協力お願いします。

12/3.4 社会奉仕ももう目の前に迫っています。参加人数の調整・子供たちへの感染リスクの対応・タイムスケジュール等々、委員長はじめ委員の皆様、何なりとお申し付け頂き、そして、会員の皆様のご協力お願い致します。

小話

水野北RC会長代理より、今回2名の北RC新入会員を他クラブ見学のため同行してきたことをはじめに、一言お話がありました。



卓話

名古屋アイリスRC創立の経緯

■ 名古屋北ロータリークラブ
会長 田嶋好博パストガバナー

私は、当地区の2010～11年度のガバナーですが、2010～11年度がどんな年であったかと言いますと2010年に中日ドラゴンズと名古屋グランパスが優勝しました。2011年の3月に東日本大震災が発生しました。

私の所属する名古屋北ロータリークラブの存在する名古屋市の歴史の古いクラブは、いずれも女性会員を受け入れておらず、当分このような状態が続くと思われました。また女性会員を受け入れているクラブでも、会員数において女性会員の占める割合は低いのが現状でした。

それを解決するために女性会員だけのクラブを作ってはと考えたのが始まりです。

その前に私のロータリー観についてお話します。私はロータリークラブとは氷山のようなものだと考えています。

氷山は水面下に膨大な氷がありますが、その部分はロータリーの会員に対する社会的信用と考えているのです。

そう考えると性的差別は無意味です。ロータリーの議論は海面から出た僅かな部分に関するものが中心で、最も大切である水面下の部分に触れないことは如何かと考えています。

実はガバナーエレクトの時地区の拡大委員会の杉浦委員長（岡崎ロータリークラブ）と相談して、名古屋と岡崎を中心とする三河地区に女性だけのロータリークラブを作ることになりましたが、早々に杉浦委員長から三河地区でクラブ作りは「難しいが、岡崎から4～5名の会員を入会させることができるから、交通の便利な場所を例会場にして欲しい」との話がありました。

そのため名古屋駅を中心に例会場を探していた結果がこのホテルに行きついたので。岡崎からの参加者は、その後無理をお願いするのではと考えてお拒りしました。

二つの女性だけのクラブを作るという構想は一つになってしまいましたが、私は2010年秋に盛田和昭パストガバナーに相談し、賛同を得た上で、地区諮問委員会で発表いたしました。出席者の誰からも反対の意見がなくパストガバナー全員の賛同を得ました。

その話が直ぐに東京に伝わり司葉子さんから盛田和昭パストガバナーに女性だけでは、会員増強とクラブ運営が難しいので男性も会員にした方がよいとのアドバイスを頂き、早速男女半々のクラブを目指すことにいたしました。その後女性だけのクラブとの情報が一人歩きしたり、直前にRIが新クラブの会員数を20名から25名に増員したこともあり、新クラブの結成に2年半もの時間が掛かることになりました。

私は、名古屋北ロータリークラブをスポンサークラブとせず特別代表も任命せず、私と私の年度地区幹事水野吉紹の二人で地区拡大委員会の協力の下で新クラブの結成をはかることにいたしました。

新クラブは10名位の方がすぐ集まりましたが、その後は1人入ると1人退会することの繰り返しで、なかなか進展しませんでした。

その間に思い出に残る話がありました。一つはあるパストガバナーからクラブの会員を移籍させようかとのお話がありました。有難いお話で、そうなればそのクラブがスポンサークラブになってくれるのではないかと考えましたが、移籍する方にご迷惑をお掛けするのではないかと考え辞退しました。

もう一つは名古屋の有名な企業の奥様に入会をお勧めしたところ、興味を示され入会を内

諾されました。ところがご子息から「お母さんが入会されれば、色々な役職をしなければならぬと思うが、いい加減なことは出来ませんよ」と釘を刺されお拒りの返事がありました。この二つの入会が実現していれば、今どんなクラブになっていたかと思えます。



新クラブの結成は、ガバナーがスポンサークラブと特別代表を決定して始まるのが通常の方法で、私は、2012年名古屋北ロータリークラブをスポンサークラブに選定すべくクラブに打診しました。クラブには子クラブといえども女性会員の入会に強硬に反対する会員が多数いましたが、理事会は（1）スポンサークラブから新クラブに創立会員を出さない（2）新クラブに資金援助はしないとの条件で協力する旨の決議を行いました。

この決議は、名古屋北ロータリークラブが、以前に結成した名古屋葵ロータリークラブの場合でも創立会員を出していないこと、2010年頃クラブの財政状況が良くなかったこと、新クラブに反対する会員が多数居たことを考えると止むを得ない決議かと思いました。

新クラブは、当然女性会員を積極的に受け入れることにしましたが、思いもしない方から反対の動きがありました。ソロプチニストで話題となり、会員拡大のライバルとされることもあったようでした。私はソロプチニストとは会員層が違うと思っていましたから驚きました。またロータリー内部からは会員の奥さんからの

反対の意見を多く聞き驚きました。その後女性会員の問題は、現在に至るまでの間に大きく変化し、現在では反対意見が少なくなり、名古屋クラブも女性会員が入会するようになりました。

もう一つの特徴の一業種一会員制については、新クラブが結成された後、改めてそれを評価する話を耳にしました。ただ今年11月19日開催された規定審議会の打合せ会で、RI理事会が職業分類を無くしてしまう提案をしていることを知りました。この提案が規定審議会で承認されると職業分類がなくなり、一業種一会員制もなくなります。

新クラブへの入会を説得した際、新しい仲間ができることやロータリークラブが楽しいことを述べても余り良い反応はありませんでした。それよりロータリークラブの職業奉仕についての考えを説明し、職業上の地位を確立させた上で余力でいいので社会に貢献しようと説得した方が有効であったような気がします。

新会員の教育は、2ヶ月に1回、その後毎月1回、更に毎週1回勉強会を開催し多くのパストガバナーに講演を頂きました。

私の年度と松前ガバナーの年度はそんな具合でのんびりやって来たのですが、千田ガバナー年度はRI会長が田中作次さんで、その任期中にぜひ新クラブの創立を間に合わせて欲しいとの要請があり、地区の拡大委員会との協議の結果、分区が別ですが西名古屋分区の名古屋栄ロータリークラブの会員で拡大委員会の委員の八神基氏に入会の上ご指導頂くことになりました。また名古屋港ロータリークラブの元会員であった三木庸行さんにも入会頂き会員の増強に尽力頂きました。その結果30名のチャーターメンバーでRI第2760地区の83番目のクラブとして創立されることになりました。田中作次さんがRI会長時代に承認された最後のクラブになりました。

スポンサークラブはその段階で名古屋北ロータリークラブとし、特別代表に同クラブの会員の浦野三男さんをお願いしました。

特別代表は当然私が勤めるものと皆様考えられていたのですが、私が引き受けなかった理由は、いよいよクラブが出来上がる時盛田パストガバナーから「ガバナー経験者は、一クラブのためではなく地区のために色々な役目を果たさなくてはならないので、一クラブのための特別代表は受けない方が良い」とアドバイスをされ、それに従ったためであることをお話しておきます。

名古屋アイリスロータリークラブが、通常のクラブと違うのはガバナーや歴代パストガバナーの皆様の賛同と協力によって作られたこ

と、分区を越えたクラブの協力で作られたクラブであることです。そのため名古屋アイリスロータリークラブは、なにかと地区の皆様の注目を集めるクラブであり、この立場は今も変わりません。

会員の皆様が以上のクラブが創立された経緯を理解して頂き、益々立派なクラブとして発展されるよう心からお祈りして卓話を終わりたいと思います。

以 上
(原文掲載)

田嶋会長を囲んでの記念撮影！

